

取り組みのプロセスの評価

環境づくりの振り返りをしたいと思います。それぞれの項目について、
いずれか1つ、あなたの感想に近いものに○をつけてください。

＜準備期＞	とてもそう 思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全く 思わない
1) 環境的課題に関心を持って見つけたり考えたりすることができた	5	4	3	2	1
2) フロアごとの環境課題を決める際、自分の意見を出すことができた	5	4	3	2	1
3) フロアごとの話し合いでは、メンバーひとりひとりの意見を出し合うことができた	5	4	3	2	1
4) フロアごとの環境改善計画は、利用者の視点からも検討した	5	4	3	2	1
5) 作成された環境改善計画は、納得できるものだった	5	4	3	2	1
6) 環境改善計画は、思い付きでなく目的や効果を踏まえて作成することができた	5	4	3	2	1
7) 計画案について、上司や管理者、専門家など周囲から助言を得て進めることができた	5	4	3	2	1
＜実施期＞	とてもそう 思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全く 思わない
8) 改善の実施にあたっては自分なりに関心を持って主体的に関わることができた	5	4	3	2	1
9) 実施にあたっては利用者に説明するなどの配慮を行った	5	4	3	2	1
10) 計画したイメージどおりの実施ができた	5	4	3	2	1
11) 環境づくりをすることで業務負担が増えない配慮がなされた	5	4	3	2	1
＜実施後＞	とてもそう 思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全く 思わない
12) 自分は改善した環境を使いこなして(活用して)いる	5	4	3	2	1
13) 利用者は、改善された環境を使いこなしている	5	4	3	2	1
14) 訪れる家族は、改善された環境を活用している	5	4	3	2	1
15) 環境づくりの実施前と実施後で、環境に対して関心が高まった	5	4	3	2	1
16) 一連の環境づくりは楽しかった	5	4	3	2	1
17) 機会があればもう一度取り組んで見たいと思う	5	4	3	2	1

個別配慮チェックリスト

問: 個々の入居者の日常生活にどのような配慮をしていますか。以下の項目について、「4 いつもしている」～「1 全くしていない」の中から当てはまるものに一つ○をつけてください。

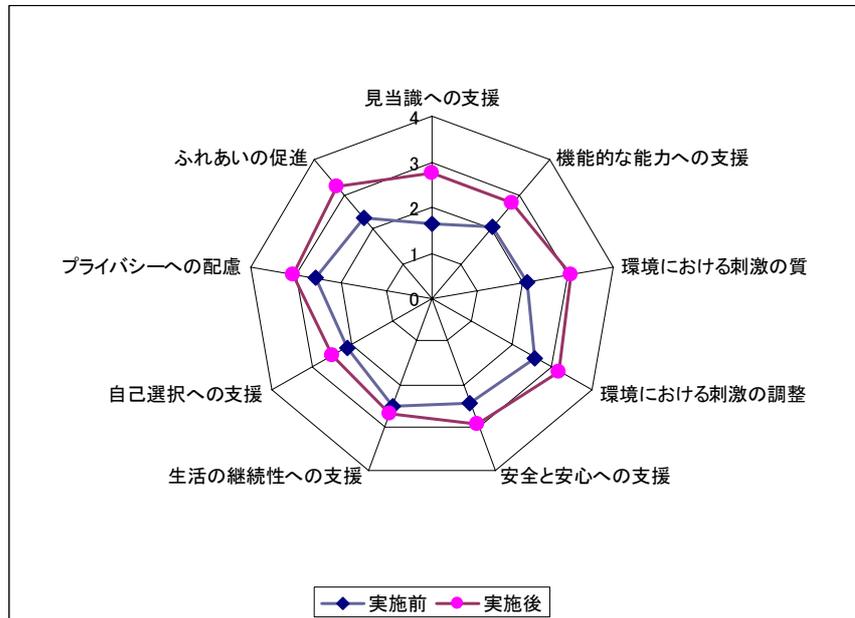
		4 いつも している	3 ときど きして いる	2 あまり してい ない	1 全く してい ない
生活 歴の 理解 と交 流促 進	(1) 入居者になじみのある時代や文化を反映したものを施設内に置いている	4	3	2	1
	(2) 入居者が花や植物に触れられるようにしている	4	3	2	1
	(3) 入居者が庭やベランダに出て、季節感や自然の空気を感じられるようにしている	4	3	2	1
	(4) 入居者の興味のあることを、施設内での活動や役割に生かしている	4	3	2	1
	(5) 入居者の生活歴や興味のあることを、他のスタッフと情報を共有している	4	3	2	1
	(6) 入居者の思い出の品や写真を話題に取り入れた会話をしている	4	3	2	1
	(7) 施設内にある小道具を利用して、入居者と他の入居者の交流を図っている	4	3	2	1
自己 選択 と自 立へ の支 援	(8) 居室やトイレなどが分かるように、サインや絵などの目印を活用している	4	3	2	1
	(9) 排泄や入浴をなるべく自分でできるように配置している	4	3	2	1
	(10) 入居者が衣服の整理をできるように、タンスなどを使いやすく工夫している	4	3	2	1
	(11) 入居者が毎朝自分の希望に合った衣服を選べるようにしている	4	3	2	1
	(12) 日常のレクリエーション活動には、入居者の意思を尊重して、参加したりしなかったりの選択ができるようにしている	4	3	2	1
	(13) 毎日の起床と就寝時間などは、ある程度入居者の希望を取り入れている	4	3	2	1
入 居者 周 辺 環 境 の 調 整	(14) 入居者が昼夜の区別をしやすいように、室内の明るさに気を配っている	4	3	2	1
	(15) 入居者にとって施設内の音が不快な場合、例えば、大きすぎるテレビの音、他の入居者の大声などにすぐ対応している	4	3	2	1
	(16) ある入居者に接している時も、他の利用者について視野に入れている	4	3	2	1
	(17) 入居者同士の人間関係に気を配りながら接している	4	3	2	1

チェックリストのまとめ方

痴呆性高齢者施設環境配慮尺度

【事例】

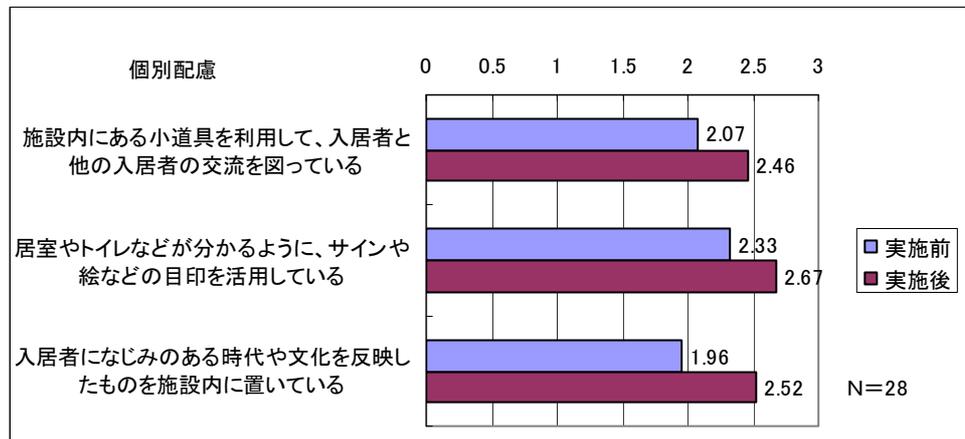
特別養護老人ホーム「たちばなホーム」（東京都墨田区）では、4つのフロアの得点を次元ごとに当てはめて、レーダーチャートに表しました。施設環境づくりの取り組みの前後で、すべての次元で改善が見られ、特に「見当識への支援」「ふれあいの促進」「環境における刺激の質」が改善されたことがわかります。



個別配慮チェックリスト

【事例】

「たちばなホーム」では、環境づくり前後をみると、実施時に個別配慮が高まるのがみられました。



[オモテ]

No.



評価 [Oをつける]

O X ?!

撮影日時

年 月 日 時ごろ

~にとって [Oをつける]

①職員 ②入居者

③その他 ()

~ということが

~と思った

こんな工夫ができるかも…

コメント

撮影場所 (箇所)

PEAP日本版3次元: 1・2・3・4・5・6・7・8・その他 (Oをつける)

[ウラ]

参加者ID

参加者プロフィール (該当するものひとつにOをつけてください)

1. キャプション評価に参加するのは何回目ですか?

① () 回目 ②初めて参加

2. あなたの立場は?

①常勤職員 ②非常勤職員 ③利用者家族 ④ボランティア ⑤本人

⑥その他 () ←専門などあれば具体的に

3. あなたの性別は?

①男性 ②女性

4. あなたの年齢は?

①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代

環境づくり事前事後シート

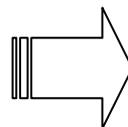
場所 _____

目標（方針）

Before

After

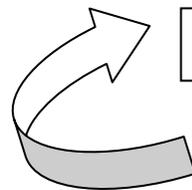
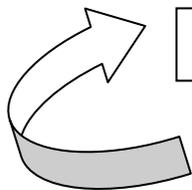
写真貼付



写真貼付

課題や問題点だったこと

改善のポイント・工夫した点



【参考文献】

1. 厚生科学研究費補助金 21世紀型医療開拓推進研究事業 平成13年度 研究報告書
「痴呆性高齢者にふさわしい生活環境に関する研究」 平成14年（2002）3月
主任研究者 児玉桂子 日本社会事業大学教授
2. 厚生労働科学研究費補助金 効果的医療技術の確立推進臨床研究事業 平成14年度 研究報告書
「痴呆性高齢者にふさわしい生活環境に関する研究」 平成15年（2003）3月
主任研究者 児玉桂子 日本社会事業大学教授
3. 厚生労働科学研究費補助金 効果的医療技術の確立推進臨床研究事業 平成15年度 研究報告書
「痴呆性高齢者にふさわしい生活環境に関する研究」 平成16年（2004）3月
主任研究者 児玉桂子 日本社会事業大学教授
4. 厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 平成14年度 研究報告書
「在宅痴呆性高齢者の環境適応の円滑化と介護負担軽減のための居住支援プログラムの開発に関する研究」
平成15年（2003）3月 主任研究者 児玉桂子 日本社会事業大学教授
5. 「痴呆性高齢者が安心できるケア環境づくり—実践に役立つ環境評価と整備手法—」
児玉桂子・足立啓・下垣光・潮谷有二編 2003年 彰国社

【施設環境づくり検討グループ】

- 児玉 桂子 （日本社会事業大学 社会福祉学部教授）
影山 優子 （日本社会事業大学 社会事業研究所研究員）
下垣 光 （日本社会事業大学 社会福祉学部助教授）
大島 千帆 （日本社会事業大学 社会事業研修所研究員）
足立 啓 （和歌山大学 システム工学部教授）

【研究協力】

- 鈴木みな子 （浦和大学・前墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム施設長）
堀江 敬子 （墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム）
今野比奈子 （墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム）
大下 敏之 （墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム）

このハンドブックは、厚生労働科学研究費補助金 効果的医療技術の確立推進臨床研究事業

平成 15 年度事業の一環として、推進事業補助金により作成したものです。

痴呆性高齢者への環境支援指針（PEAP）を用いた施設環境づくり実践ハンドブック

平成 16 年（2004）3 月

発行 日本社会事業大学 児玉研究室

主任研究者 児玉桂子

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

FAX 0424-96-3001

E-mail info@kankyozukuri.com

